



『「いの中の最期」を生きる
人として尊厳を支える在宅医療・介護とは!?!』
・著者/斎藤忠雄 ・現代書林/ 1,365円(税込)

本書は、ごく普通の開業医だった著者が、訪問看護師や訪問薬剤師などでチームをつくり、在宅医療や終末期医療に取り組むまでに至ったその活動の記録をつづる。

多職種協働でローテーションを組んで患者宅を回り、患者情報は迅速かつ正確にチーム全員が共有できる仕組みを整備する。夜間は当番制として患者宅から連

絡があった際にすぐに医師に伝わる仕組みをつくる。これにより24時間365日を担保しているという。この在宅医療・介護を可能としたのは、いかにシステムをつくり上げるかにあったと述べる。

現在は、小規模多機能を生かし、低料金で高齢者の終の棲家を提供する「シルバーハウジング」構想の具現化を目指し活動しているという。